

タイ主要経済データレポート

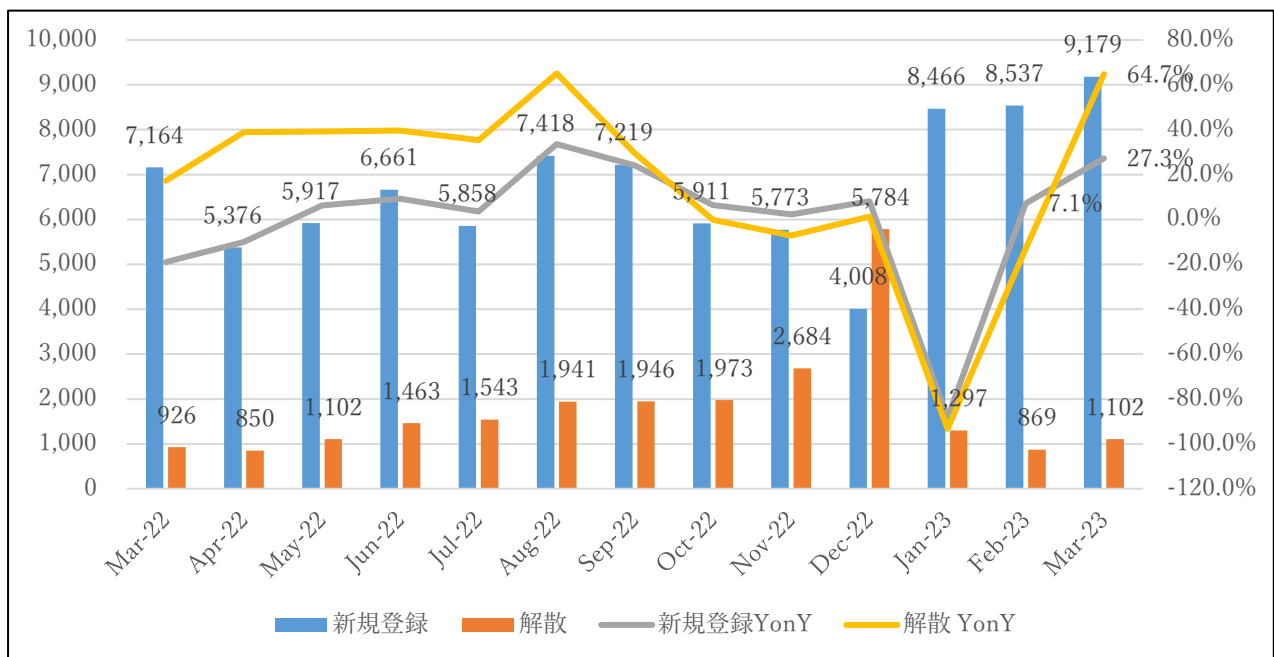
(2023年4月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【データ：企業登録・解散】

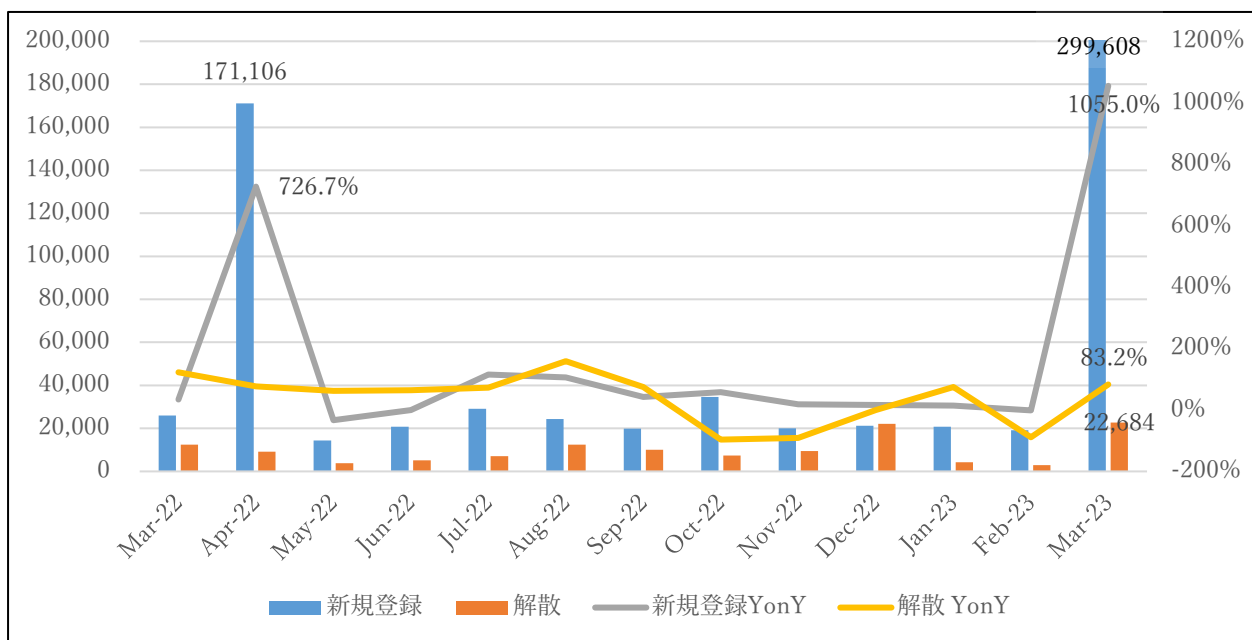
タイ商務省事業開発局（DBD）は、3月の企業登録並びに解散件数を発表した。

〔図1〕 (Y on Y=前年同月比)



〔図1〕は、企業登録数である。3月の登録数は9179社で、前年同月比+27%となった。一方、解散企業数は1102社で、前年同月比+27.3%。昨年の同月比に比べ、企業登録数が2000社以上増えたことが特徴的で、コロナ禍以降、最大の登録件数となったが、解散件数も増加したが、微増にとどまった。コロナ規制がなくなり、個人消費や外国人旅行者数などが回復傾向となっていることがここでも窺い知れる。

〔図2〕



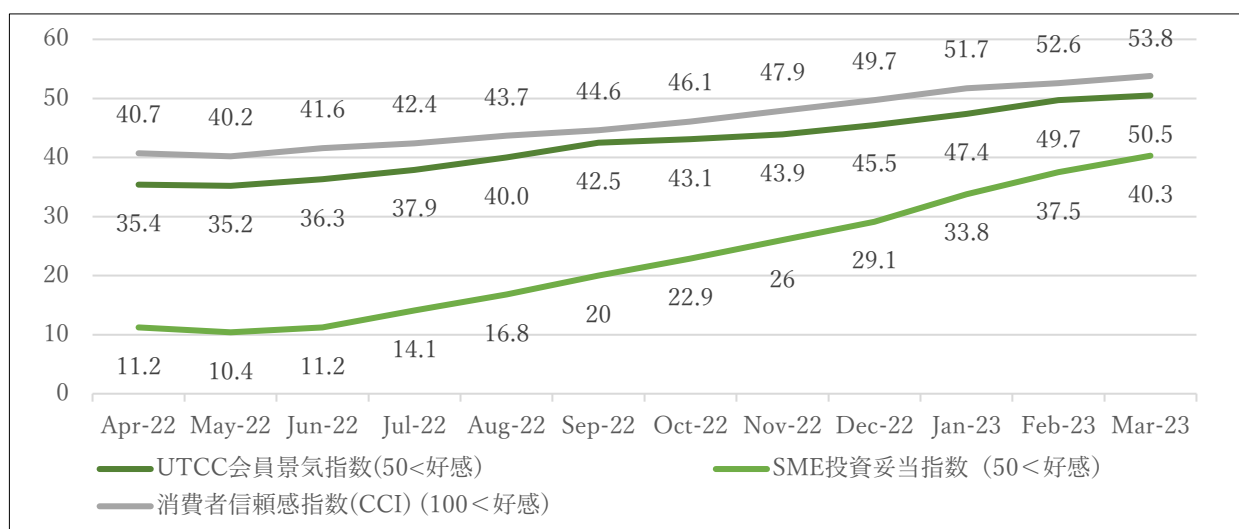
(単位：百万バツ)

出所：<https://datawarehouse.dbd.go.th/stats>

〔図2〕は、企業登録時の登録資本金額となる。3月の登録資本金額は2,996億バツで、ここ数年での最高額を記録。おそらくだが、中国系EVメーカーが工場設立のために巨額投資を行ったと推察される。一方、解散企業の資本金額は227億バツで、前年同月比で+83%となっている。決算報告前の月なので、この時期に解散が増えるのは例年のことだが、国内マーケットの競争激化も影響しているものと思われる。

2. 【データ：物価指数】

タイ商業会議所大学 (UTCC) は、3月の会員景気指数 (50<好感)、SME投資指数 (50<好感)、消費者物価指数 (100<好感) を発表した。



(UTCC会員企業指数サンプル数：369、CCI、SME投資指数サンプル数：2241)

出所：http://cebf.utcc.ac.th/index_number.php

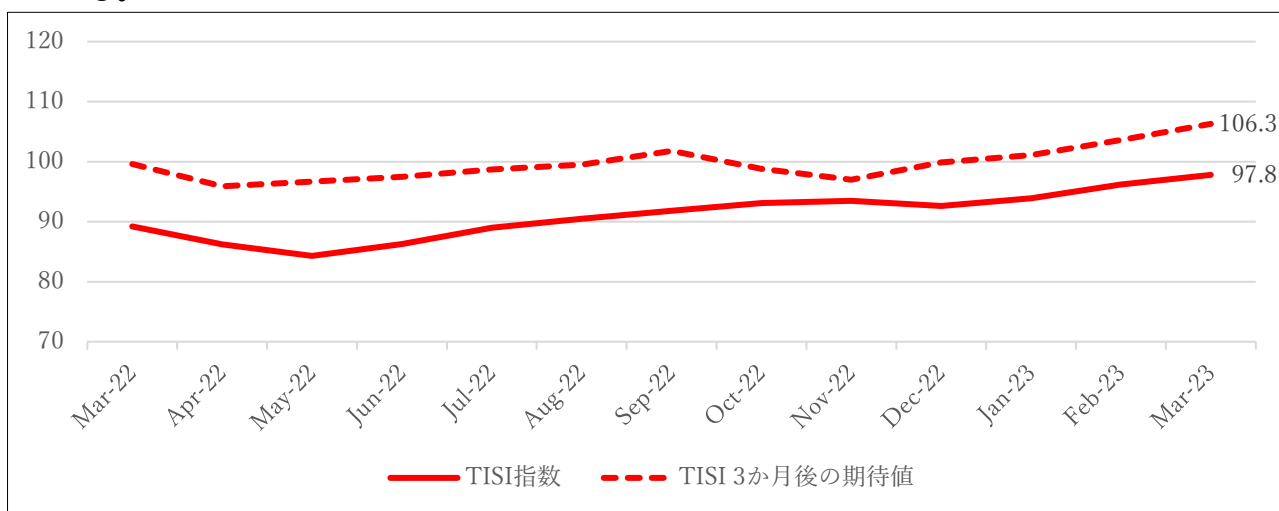
3月のUTCC会員景気指数は50.5となり、コロナ禍以降初めて50ポイントを回復し

た。また、消費者物価指数は53.8となり、こちらも2020年11月以降で最高のポイントとなった。SME投資指数もコロナ禍以降で最高のポイントとなった。一方、消費者信頼感指数は100以上が好感となるが、依然として50ポイント台となっており、国民の購買力の弱さや今後の景気を不安視していることが伺える。

3. 【調査：ビジネス環境指数】

タイ工業連盟（FTI）は、3月の産業景況感指数（TISI）を発表した。これは、FTIに加盟する45業種の1322社を対象とした調査となる。

指標は、100を起点として、先月と比較し、良くなった、悪くなったかを示している。



出所：<https://fti.or.th/ftiindex/>

3月のTISIは97.8となり、コロナ禍以降で最高の値を記録した。また、3か月後の期待値は106.4となり、こちらも過去最高の値となり、4か月連続で値を更新している。要因として、国内需要の高まり、農家の収益増で地方経済の活性化、外国人旅行者数増、製造業の回復など。

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し、2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2023 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。